ニュースリリース②受賞品種解説
ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
（一般財団法人日本花普及センター内）

2022.12.13

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2022決定。

及び
特別賞受賞品種のご紹介
切花部門　／　鉢物部門　／　ガーデニング部門

■「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。
国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。
各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）や、ベスト・フラワー（優秀賞）、各種特別賞を選定しています。

フラワー・オブ・ザ・イヤー Flower of the Year　モーストジョイ特別賞　ニューバリュー特別賞　カラークリエイト特別賞　ニュースタイル特別賞　ライフデザイン特別賞　ジャパンデザイン特別賞　モニター特別賞

ベスト・フラワー Best Flower　フレグランス特別賞　ブリーディング特別賞　グッドパフォーマン特別賞　フォトジェニック特別賞　コンテナガーデンパフォーマンス特別賞　コンテナパフォーマンス特別賞　ガーデンパフォーマンス特別賞

JAPAN FLOWER SELECTIONS　いい花の新基準。

http://www.jf-selections.net/

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル４F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL：03-3664-8739　FAX：03-3664-8743
メール：jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2022-2023
審査会の開催状況

■切花部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2022年5月11日（水） 会場：横浜市役所　市民協働推進センター	28品種
秋審査会	審査日：2022年10月17日（月） 会場：大田市場花き部内（株）大田花き	13品種
切花部門　合計		41品種

■鉢物部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2022年5月11日（水） 会場：横浜市役所　市民協働推進センター	16品種
秋審査会	審査日：2022年11月22日（火） 会場：大田市場花き部内 （株）フラワーオークションジャパン	12品種
鉢物部門　合計		28品種

■ガーデニング部門

審査会名	審査日	審査対象品種
冬春 春 夏秋 秋審査会	審査日：（第１回）　2022年　5月19日（木） （第２回）　2022年　6月 7日（火） （第３回）　2022年　7月28日（木） （第４回）　2022年　9月14日（水） （第５回）　2022年 11月 1日（火） 会場:千葉大学環境健康フィールド科学センター）	24品種
ガーデニング部門　合計		24品種

審査会の様子

切花部門春審査会の様子

鉢物部門春審査会の様子

ガーデニング部門屋根付き施設での審査の様子

ガーデニング部門露地花壇での審査の様子

■ローズフェアwith趣味の園芸と同時開催した春審査会では、一般のお客様を迎えての展示公開を行いました。

春審査会会場での一般公開の様子

ジャパンフラワーセレクション2022-2023
審査員のご紹介

JAPAN FLOWER SELECTIONS　いい花の新基準。

御協力いただいた審査員の先生方

部　門	審　査　員　名
切花部門	宍戸　純　（株）大田花き　商品開発部　部長〈部門長〉 石黒　康二　（株）フラワーオークションジャパン　切花部　輸出入事業課　課長 大根　秀夫　（株）千政　代表取締役 小泉　吉寿　（株）白楽花園　チーフデザイナー 細谷　宗令　元千葉県農林総合研究センター 増田　篤　（株）日比谷花壇　バンケット事業統括部　購買企画推進部　部長
鉢物部門	平田　隆明　（株）フラワーオークションジャパン　常務取締役 鉢物本部長〈部門長〉 岡部　幸一　（株）大田花き　営業本部　第二グループ　グループリーダー 尾崎　明弘　（株）オザキフラワーパーク　代表取締役 香取　邦枝　第一園芸（株）　商品販売事業本部　店舗事業部　部長 小池　安比　東京農業大学　農学部　バイオセラピー学科　教授 向原　潤　（株）ディノス・セシールフラワーネット本部 フラワーネット事業部　EC/事業推進ユニット　チーフ
ガーデニング部門	山本　岳史　豊明花き（株）　企画本部外商部　部長〈部門長〉 尾崎　明弘　（株）オザキフラワーパーク　代表取締役 杉井　志織　はなぐみ　代表 村上　智弘　（株）フラワーオークションジャパン　鉢物部　部長 山口　まり　日本ハンギングバスケット協会　理事 渡辺　均　千葉大学環境健康フィールド科学センター　教授
中央審査委員会	中央審査委員長　安藤　敏夫 切花部門長　宍戸　純 鉢物部門長　平田　隆明 ガーデニング部門長　山本　岳史

ジャパンフラワーセレクション2023-2024の審査会開催予定

切花部門

■春審査会（大田市場花き部内　㈱大田花き）

開催日：2023年4月7日（金）

鉢物部門

■春審査会（大田市場花き部内
㈱フラワーオークションジャパン）

開催日：2023年5月19日（金）

＊詳細が決まり次第、ジャパンフラワーセレクションのホームページ上「WHAT’S NEW」に発表いたします。

ガーデニング部門（千葉大学環境健康フィールド科学センター）

■春審査会＊冬春審査も受付中（植え込み開始しています）

募集締切：2023年1月末頃を予定
植栽開始：2月～3月頃（定植の適期をご相談ください）
審査　　：4月～5月頃

■夏審査会・夏秋審査会

募集（一次）締切：2023年2月末頃を予定
植栽開始：3月～5月頃（定植の適期をご相談ください）
審査　　：期間中3回程度（5月、7月、9月頃を予定）

NEW！

2023年の切花・鉢物部門「春審査会」の日程が決まりました！

次回切花・鉢物部門「春審査会」は「秋審査会」大田市場内（㈱大田花き、㈱フラワーオークションジャパン）での開催となりました。

ご出品ご希望の方はご準備をおすすめくださいますようお願い申し上げます。

開催日程

切花部門　審査日：2023年4月7日（金）

審査会後の展示（市場内展示）：2023年4月8日（土）～13日（木）

鉢物部門　審査　：2023年5月19日（金）

審査会後の展示（市場内展示：2023年5月20日（土）～26日（木）

切花部門と鉢物部門で日程が異なりますので、ご注意ください。

写真は2022年「秋審査会」審査後の展示の様子

NEW！

ガーデニング部門の審査圃場をリニューアルしました。

2023年度の出品を募集を開始しております。

植え付けの適期を事務局までご相談ください。

■栽培観察・審査場所：千葉大学環境健康フィールド科学センター

◆「ガーデニング部門」出品募集中！

定植時期や、観察希望期間、出品料について詳しくはご相談ください。
2023年の審査の定植を開始しております。長期間にわたる観察も承っております。
2023年度のガーデニング部門へご出品をご検討中の方は、早めにご相談ください。

新しくなった露地花壇の様子。

いつ頃から苗を植えられる？搬入はどこに、どのように？審査の期間はどのように決めればいい？など、出品に関するお問い合わせは、jfpc@jfpc.or.jp へ！

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について

1. フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー（優秀賞）」（10点満点の8.0点以上）から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー（優秀賞）

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種（10点満点の7.0点以上）の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

（切花部門・鉢物部門）
これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「コンテナパフォーマンス特別賞」

「ガーデンパフォーマンス特別賞」

（ガーデニング部門）
コンテナとガーデンの両方のパフォーマンスに優れている場合は、「コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞」と表記します。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。（切花部門・鉢物部門のみ）

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクト を与えた品種に授与されます。

「カラークリエイト特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしたくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、
10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1～3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。（マークの使用期限はありません）
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。

切花部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2022
鹿児島県　テッポウユリ「咲八姫（さくやひめ）」

受 賞 者 ：鹿児島県
育 成 者 ：鹿児島県
育成者権者：鹿児島県
ホームページ ：https://www.pref.kagoshima.jp/
審査講評 ：これまでになかったイノベーティブなテッポウユリ。八重のため日持ちもよい。八重咲きの程度もちょうどテッポウユリのイメージに合っているので、この具合で充分という評価もあった。

上向きに開花し１本でも絵になる花姿である。和風、洋風どちらにでも利用できる。春審査会時の人気投票では切花部門で第１位となった。

花粉は少なめではあるが、今後はポーレンフリー化（無花粉化）にも期待したい。

＊写真は花粉を取り除いてあります。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】
沖永良部島の特産品であるテッポウユリの新規需要を喚起するため、鹿児島県が新規性花型の育種に取り組んだ中で誕生した、テッポウユリ初の八重咲き品種です。
鹿児島県は、50年以上育種に取り組んでおり、まさに「50年目の奇跡」と言える品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】
従来のテッポウユリ品種では、花の大小、花の向きなどに特徴があるものが中心でした。無花粉品種を目指した交雑育種で、偶然八重咲きの個体が出てきて大変驚いています。今後は大輪や小輪などの新たな八重咲き品種や花粉の出ない品種の開発に取り組んでまいります。

ベスト・フラワー（優秀賞）［グットパフォーマンス特別賞同時受賞］

アスター「ブリリアンEX　ブルー」タキイ種苗（株）

受 賞 者　：タキイ種苗(株)（京都府）
育成者権者：タキイ種苗(株)
ホームページ：http://www.takii.co.jp
審査講評　：

マットなラベンダーブルーの独特な花色が美しいアスター。大輪八重の同社のブリリアンシリーズの中でひと回り大きく、幅広く使いやすいサイズ感。輪数も多く、側枝の長さが確保されている。茎は細いが硬いので、枝を割って使えるのもよい。

ナチュラル系のアレンジメントと相性がよいので、今の流行にマッチしそう。今までのアスターのイメージを変えるスタイリッシュな品種。

ベスト・フラワー（優秀賞）とグットパフォーマンス特別賞を同時受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）［カラークリエイト特別賞同時受賞］

キク「バルタザールフロスティ」(株)デリフロールジャパン

受 賞 者　：(株)デリフロールジャパン（静岡県）
育成者権者：Deliflor Royalties B.V.
ホームページ：https://www.deliflor.co.jp/
審査講評　：

1輪で飾っても存在感のある個性的なマム。霜が降りたような花色は、ベースの色をほんのり感じるような、上品な表現。フロスティという名前が雰囲気をよく伝えている。

中心部分と弁先にうっすらライムグリーンをおびているが、冬は、エアブラシで朱色を吹きかけたような独特な色合いになるという。和の雰囲気も感じられるという意見もあった。

ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）［ニューバリュー特別賞同時受賞］

デルフィニウム「F1 ビジューアクアマリン」(株) ミヨシ

受 賞 者　：(株)ミヨシ（山梨県）
育 成 者　：磯部　知里
育成者権者：(株)ミヨシ
ホームページ　：　http://www.miyosi.co.jp/
審査講評　：

　彩度の高いブルーの花色。珍しいスプレータイプ（シネンシス系）の八重咲き品種のデルフィニウムで、ボリューム感がある。遠くからでもパッと目を惹くようなブルーは、名前の通りビジュー（宝石）的な高級感があり、消費者にも人気。

　正真正銘主役級のデルフィニウムである。スプレーのボリュームも素晴らしいが、茎の硬さもあり、スプレーが絡まずに使いやすい。ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を同時受賞。人気投票では切花部門で３位に入賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）［カラークリエイト特別賞同時受賞］

トルコギキョウ「コサージュ(NF)レンガ」(株) ナカソネリシアンサス

受 賞 者　：（株）ナカソネリシアンサス（長野県）
育成者権者：　中曽根　健
審査講評　：

　インパクトのあるおしゃれなレンガ色。コサージュらしい芽かきで、ボリュームに富む。

　葉の巻き込みがやや気になるという意見もあった。茎をもう少し細く仕立てると使いやすいなどの見方もあったが、一輪の存在感は他に代わるものが無くこれぞ「コサージュ」といったところ。次々とでてくる斬新な提案の中曽根健ワールドに今後も期待が高まる。

　ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞。人気投票では切花部門で第５位入賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）［モーストジョイ特別賞同時受賞］

トルコギキョウ「ボヤージュ®（2型）アプリコット」（株）サカタのタネ

受 賞 者 ：（株）サカタのタネ（神奈川県）
育 成 者 ： 森一俊
育成者権者：（株）サカタのタネ
ホームページ ： http//www.sakataseed.co.jp
審査講評 ： 従来品種のアプリコットカラーより、花色がブライトでよく出ている。またつぼみのグリーンとのコントラストが美しい。
整った花形とバランスの良い花弁数、茎も強く、非の打ちどころがない。全体のボリューム感も柔らかい色のイメージにぴったりと合って、高級感たっぷり。
ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を同時受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）［モーストジョイ特別賞同時受賞］

トルコギキョウ「ボヤージュ®（2型）ピンクシェイク」（株）サカタのタネ

受 賞 者 ：（株）サカタのタネ（神奈川県）
育 成 者 ： 森一俊
育成者権者：（株）サカタのタネ
ホームページ ： http//www.sakataseed.co.jp
審査講評 ： キャンディポップなピンク色、一輪の中でのグラデーションが素晴らしい。
整った花形とバランスの良い花弁数、茎も強いところは、今回出品された同ボヤージュシリーズに共通している。
キュートな花色でも同時に高級感があり、1本でも絵になる。
ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を同時受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）［モーストジョイ特別賞同時受賞］

トルコギキョウ「ボヤージュ® (2型) ライトシャンパン」(株) サカタのタネ

受 賞 者　：（株)サカタのタネ（神奈川県）
育 成 者　： 森一俊
育成者権者：（株）サカタのタネ
ホームページ ： http//www.sakataseed.co.jp
審査講評　： パステルカラーのグラデーションが非常にバランスよく美しい。
　整った花形とバランスの良い花弁数、茎も強いところは、今回出品された同ボヤージュシリーズに共通している。同シリーズのフリル感にシャンパンカラーのイメージがよく似合っている。
　ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）［ライフデザイン特別賞同時受賞］

バラ「フランベール」やぎバラ育種農園

受 賞 者　：やぎバラ育種農園（静岡県）
育 成 者　：やぎバラ育種農園
育成者権者：やぎバラ育種農園
ホームページ ：http://yagibara.i-ra.jp/
審査講評　：　印象的なグリーンアイと花のボリューム感が見事。とげが少なく、作業性もよい。特異な用途向けかという意見もあったが、クラシカルな色、ぽってりと丸い花形、個性的な雰囲気が来場者に人気で、人気投票では切花部門第４位。
ベスト・フラワー（優秀賞）とライフデザイン特別賞を同時受賞。

ニュースタイル特別賞

フランネルフラワー「フェアリーカスタード」岐阜県農業技術センター

受 賞 者 ：岐阜県農業技術センター（岐阜県）
育 成 者 ：松古浩樹、加藤克彦
育成者権者：岐阜県
ホームページ ：http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/g-agri/
審査講評 ：　既存品種の「ファンシーマリエ」の純白の花弁に対して、ややクリーム色がかった切花フランネルフラワーにはなかった花色。従来品にバリエーションが加わり、用途が広がった。

　分枝が多く、アレンジメント・花束両方に使いやすい。茎が細いため、ナチュラルな雰囲気に合わせやすい。ドライフラワーが人気だが、ドライのニュアンスもある。

春一季性で３月～５月にかけての出荷だが、季節を問わず欲しい品種。

　ニュースタイル特別賞を受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

キク「アルベラ」(株)デリフロールジャパン

受 賞 者 ：(株)デリフロールジャパン（静岡県）
育成者権者：Deliflor Royalties B.V.
ホームページ ：https://www.deliflor.co.jp/
審査講評 ：
　鮮明でさわやかなグリーンの花色とユニークな花形が印象的。弁先のフリル状の切れ込み、咲き進むと厚みを増し、丸い形が強調される咲き方に特徴があり、菊感があまりないので、ブライダルやお祝いなど用途が広がりそう。

　グッドパフォーマンス特別賞を受賞。

ジャパンデザイン特別賞

キク「フォーキャスト」(株)デリフロールジャパン

受 賞 者 ：(株)デリフロールジャパン（静岡県）
育成者権者：Deliflor Royalties B.V.
ホームページ ：https://www.deliflor.co.jp/
審査講評 ： クラシカルなニュアンスのあるスパイダー咲き。輪径が１６センチにも広がり、１本でも絵になる。
　落ち着いたピンク色、芸のある伝統菊のような雰囲気で、和をイメージさせる。ジャパンデザイン特別賞を受賞。

フォトジェニック特別賞

カーネーション「アフォガート」カネコ種苗（株）

受 賞 者 ：カネコ種苗(株)(群馬県)
育 成 者 ：金丸　直明
育成者権者：カネコ種苗（株）
ホームページ ：http://www.kanekoseeds.jp/
審査講評 ：人気のラスティック＆グラデーションカラーで、時代にマッチする花色が素晴らしい。丸弁の花形も新しい雰囲気のスプレーカーネーションらしく、一輪一輪の花形がかわいらしい。
フォトジェニック特別賞受賞。

カラークリエイト特別賞

ボンベイケイトウ「アスカセレクト　パープルウェーブ」(株)明日香園

受 賞 者　：(株)明日香園（佐賀県）
育 成 者　：山口　秀行
育成者権者：山口　秀行
ホームページ：http://www.asukaen.com
審査講評　：

　波打つ大輪花序のウエーブが既存のパープル品種より大きいため、光沢がより美しく目立ちビロード感が増している。見る角度によって異なる色目はシックで新奇性がある。

　丈が長く揃いがよく使い勝手もよさそうで、冠婚葬祭など利用できる場面が広がるだろう。病害虫に強く生産効率のもよい。

　カラークリエイト特別賞受賞。

カラークリエイト特別賞

ボンベイケイトウ「アスカセレクト　ブロンズ」(株)明日香園

受 賞 者　：(株)明日香園（佐賀県）
育 成 者　：山口　秀行
育成者権者：山口　秀行
ホームページ：http://www.asukaen.com
審査講評　：

　斬新で珍しいブロンズカラーのケイトウは待望の品種。発色よく丈が長く大輪で、秋の装飾にうってつけの花材。

　合わせる花を選ばない、色なじみのよいブロンズ色で高級感がある。格調高いアレンジメントが期待できそうで、人気が出るだろう。

　病害虫に強く生育の揃いもよいため、生産効率が高い点にも期待したい。

　カラークリエイト特別賞受賞。

ジャパンデザイン特別賞

キク「カフカ」(株)デリフロールジャパン

受 賞 者 ：(株)デリフロールジャパン(静岡県)
育成者権者：Deliflor Royalties B.V.
ホームページ ：https://www.deliflor.co.jp/
審査講評 ：　ピンク、ホワイト、グリーンの３色が混ざり合い、万華鏡のように変化する、キュートな色目のデコラポンポンマム。
　ぎっしり詰まった花弁が次第に垂れ下がり、刻々と変化する様子も楽しい。一輪でも存在感を放ち、大きすぎず小さすぎないサイズ感もちょうどよく使い勝手がよさそう。良い意味でキクっぽくない花で、用途が広い。
　ジャパンデザイン特別賞受賞。

ジャパンデザイン特別賞

キク「トロピカーナ」(株)デリフロールジャパン

受 賞 者 ：(株)デリフロールジャパン(静岡県)
育成者権者：Deliflor Royalties B.V.
ホームページ ：https://www.deliflor.co.jp/
審査講評 ：　レッド＆イエローのコントラストがくっきり華やかなポンポンマム。季節によって花色のトーンが変化し、秋から年末にかけて重宝しそうなカラーリング。中輪のサイズ感もちょうどよく使い勝手がよさそう。
　ネーミングとは裏腹に、和風の印象も感じられるところからジャパンデザイン特別賞受賞。

ニューバリュー特別賞

ダリア「NAMAHAGEプリティ」秋田県

受 賞 者 ：秋田県
育 成 者 ：鷲澤 幸治
育成者権者：秋田県
ホームページ ：
https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/13721
審査講評 ： 花弁の裏表でピンク色の発色が異なるバイカラー品種。グラデーションも美しい。
中輪のフォーマルデコラ咲きのなかでも、星咲きのため可愛らしさが際立つ。ほかの花とも合わせやすそう。露芯になりにくく日もちもよく、ギフト、ブライダルなどを筆頭に、利用場面は広いだろう。ただし、葉の大きさが気になった。

グッドパフォーマンス/モーストジョイ特別賞

ダリア「NAMAHAGEラブ」秋田県

受 賞 者 ：秋田県
育 成 者 ：鷲澤 幸治
育成者権者：秋田県
ホームページ ：
https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/13721
審査講評 ： ダリアの魅力が引き立つ中輪のフォーマルデコラ咲き。落ち着いたサーモンピンクの花色は、流行の「くすみ色系」で美しい。さまざまな色の花とも、なじみやすそう。
また、花の大きさのわりにステムが太すぎないため、扱いやすいだろう。花が上向きであれば、さらによかった。
グッドパフォーマンス特別賞とモーストジョイ特別賞を同時受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

トルコギキョウ「SM9-706M 中生大輪フリンジ八重咲きピンク」（株）サカタのタネ

受 賞 者 ：（株）サカタのタネ（神奈川県）
育 成 者 ： 森 一俊
育成者権者：（株）サカタのタネ
ホームページ ： https://www.sakataseed.co.jp
審査講評 ：

大人かわいいピンクと緩やかなフリルがマッチした優雅なフリンジ咲き品種。

驚きの大輪と多花性で、ボリューム感がある。温暖化の影響で寒冷地でも高品質を維持しての夏季出荷が難しくなりつつあるなかで、高温期に出荷できる貴重な品種。どの生産者さんでもこのように作ることが出来ればうれしい。末長く利用されるだろう。

非常に見応えがあるためグッドパフォーマンス特別賞受賞。

グッドパフォーマンス/フォトジェニック特別賞

バラ「ブライダルラズベリーローズ 」（有）たなまち園芸場

受 賞 者 ：（有）たなまち園芸場（福岡県）
育 成 者 ：棚町 満
育成者権者：棚町 満
審査講評 ：

中大輪のポンポン咲きは、手毬のようなかわいらしさ。しなやかなステムは扱いやすく動きのあるブーケにも向き。花着きの個体差が見られたが、それもナチュラルな雰囲気を醸している。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

広く好まれる甘いピンク色は、かわいらしい花型とマッチしていてフォトジェニック特別賞も同時受賞。芳香があったらうれしいという意見もあった。

花の外輪の退色がやや気になったが、ここまで開いても花の日もち性が高いところは、たなまち園芸場ならでは。

ニューバリュー ／ ライフデザイン特別賞

バラ「ベイビーカメレオン」(株)ROSETIQUE JAPAN

受 賞 者 ：(株)ROSETIQUE JAPAN（東京都）
育 成 者 ：今井　清
育成者権者：(株)ROSETIQUE JAPAN
審査講評 ：　大輪でありながら4～5輪のスプレー咲きとなる花つきの良さが特徴。花もちも大変よく、樹上ではピンクからペールグリーンへと咲き進み、美しいグラデーションをなす。どの時期の花色も好ましく、長期間採花が可能でニューバリュー特別賞とライフデザイン特別賞同時受賞。

　花つき、カップ咲きの美しさ、日保ち性が調和し、バランスの良い品種といえる。

フレグランス特別賞

バラ「マーサマイディア 」（有）アミノ

受 賞 者 ：(有)アミノ（神奈川県）
育 成 者 ：今井　清
育成者権者：小野　美和
審査講評 ：　従来にあまりないクリーム色の可愛いカップ咲き。フルーティな香りで、フレグランス特別賞受賞。ただし、淡色のため花弁の傷が気になった。

　ガーデンローズの血を入れることで、病気に強く生育旺盛な点に期待したい。ステムもよく伸び、バランスのよい草姿を保つ。採花本数も多いため生産性が高い。

鉢物部門
フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2022
石原産業（株）　ファレノプシス「Blue Gene（ブルージーン）」

受 賞 者　：石原産業（株）（大阪府）
育 成 者　：湯木俊次、三位正洋、Dong Poh Chin
育成者権者：石原産業（株）
ホームページ：https://www.iskweb.co.jp/
審査講評　：2005年からの研究開発で試行錯誤を経て誕生した、唯一無二の青色のミディ系コチョウラン。濃青色が非常に美しい。和のテイストも感じられ、アピール次第で強いインパクトになるだろう。春審査会時の提出花については、やや葉色のムラと花の向きの揃いに今後の課題もあったが、他とは一線を画す存在として、贈り物に最適。バンダに次ぐブルー系ランとして切花としても欲しいという意見もあった。

来場者の人気投票では切花・鉢物の総合で1位となった。

■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

青色色素を作る遺伝子（青色遺伝子）を持たないコチョウランに、ツユクサから取り出した青色遺伝子を導入することにより、鮮やかな青紫色の花の開花に成功しました。その後、遺伝子組換え植物の開発に必要な「生物多様性影響評価」を経て、商品化に至りました。

【開発の面白さ・今後の展開など】

これまでにない花を作り出すことが花き育種家の夢ですが、遺伝子組換え技術を用いれば、古典的な育種では不可能な花を作り出すことが出来ます。「生物多様性影響評価」というハードルはありますが、これからも夢のような花の育種を目指したいと考えています。

ベスト・フラワー（優秀賞）［ニュースタイル特別賞 同時受賞］

アジサイ「ドリップ」（有）さかもと園芸

受 賞 者　：（有）さかもと園芸（群馬県）
育 成 者　：坂本ティアムチャイ
育成者権者：坂本ティアムチャイ
ホームページ：http://sakamotoengei.com/index.html
審査講評　：豪華な大輪、丸弁八重咲き品種。花弁のブルー、ピンクを引き立たせる絞り染めのような白いぼかしの縁取りが特徴。装飾花がとても大きく、丸弁のクッキリとコントラストの効いた覆輪で存在感がある。とくにブルーが素晴らしく、夏のギフトに向くだろう。

強健で水切れに強いので、家庭でも育てやすい。ベスト・フラワー（優秀賞）とニュースタイル特別賞を同時受賞。人気投票では鉢物部門第2位。

ベスト・フラワー（優秀賞）［モーストジョイ特別賞 同時受賞］

アジサイ「メイアンジュ」（有）さかもと園芸

受 賞 者　：（有）さかもと園芸（群馬県）
育 成 者　：坂本ティアムチャイ
育成者権者：坂本ティアムチャイ
ホームページ：http://sakamotoengei.com/index.html
審査講評　：メイアンジュは、「5月の天使」の意味。透明感のあるピンクの大輪、丸弁、バラのような八重咲き品種で豪華。コンパクトで花つき、花もちもよい。

アジサイには、翌年を期待しての購入も多いため、庭植えにしたり植え替えてもピンクの花色が変わりにくい点はうれしく、母の日などのギフト性が高い。半てまり型なので耐暑性にすぐれ、生産性が高い。

ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞同時受賞。人気投票では鉢物部門第3位。

鉢物部門 **春** 審査会

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

ベスト・フラワー（優秀賞）［フォトジェニック特別賞 同時受賞］

ジニア「プロフュージョン レッドイエローバイカラー」（株）サカタのタネ

受 賞 者　：（株）サカタのタネ（神奈川県）
育 成 者　：佐藤　智博
育成者権者：（株）サカタのタネ
ホームページ　：http//www.sakataseed.co.jp
審査講評　：

明瞭なバイカラーで開花し、ピンク、ローズ色、オレンジ系へと変化しながら咲き進む花色に魅力があり、ベスト・フラワー（優秀賞）とフォトジェニック特別賞同時受賞。

この花色の変化をアピールするために　変化が一目瞭然の鉢仕立てを望む声と、ガーデンでのパフォーマンスを確認したいという意見があった。

あらゆる環境下でも咲き始めからバイカラーが明瞭で安定性が高い。雨後の気温上昇で株内部が蒸れて葉が枯れ上がりやすいが、本品種はその影響を受けにくい。

鉢物部門 **秋** 審査会

ベスト・フラワー（優秀賞）［グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞］

キク「和・美・菊　なでしこ」髙松商事（株）

受 賞 者　：髙松商事（株）（千葉県）
育 成 者　：Royal Van Zanten 社
ホームページ　：http://www.tacoflower.jp/
審査講評　：

スプーン咲きが特徴的で新しい色目のキク。秋にふさわしいピンクとオレンジ色の中間的なモーヴカラーは、ノスタルジックな雰囲気もある。

株姿もよく、ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞 を同時受賞。大輪で色鮮やかで咲き方も好ましく、幅広い層に受け入れられそう。夏過ぎから年末年始にかけての色彩として最適で、既存品種と同様、耐病性、耐暑性に優れる。

ベスト・フラワー（優秀賞）［ブリーディング/モニター特別賞（秋）同時受賞］

シクラメン「 チモピコティーシリーズ　サーモンピンク 」(有)矢祭園芸

受 賞 者　：（有）矢祭園芸（福島県）
育 成 者　：金澤　美浩
ホームページ　：https://ysflower.jp/Y's flower
審査講評　：

八重咲きバイカラーのミニタイプシクラメン。花上がりがよく、かわいらしい色彩と咲き方に新規性を感じる。花弁に厚みがあり花もちがよく、観賞期間が長く商品性が高い。葉分けをしなくても自然とドーム状に育つ株姿もよく、八重咲きの魅力が際立つ。特徴的な花容と相まって大変魅力的。ブリーダーのセンスのよさが伝わってくることからベスト・フラワー（優秀賞）とブリーディング特別賞 同時受賞。また、人気投票第1位で、モニター特別賞も受賞。

ベスト・フラワー（優秀賞）［モーストジョイ/ニューバリュー特別賞 同時受賞］

ファレノプシス「グリーンハット」（株）マルイ洋蘭開発センター

受 賞 者　：（株）マルイ洋蘭開発センター（群馬県）
育 成 者　：渡辺　武夫
ホームページ　：https://www.e-hanaran.com
審査講評　：

これまでにない中輪タイプのグリーン系ファレノプシス。コンパクトで株のバランスがよい。

黄色にもグリーンにも見える花色は、強すぎず、弱すぎない絶妙な色あい。鮮やかでムラがなく、飾りやすい色で、ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞、ニューバリュー特別賞を同時受賞。

また、多花性で花の並びや花もちがよく、葉が小さい。様々な用途のギフトとして提案しやすい品種。

ベスト・フラワー（優秀賞）［ニュースタイル特別賞 同時受賞］

ファレノプシス「セイラ」（株）マルイ洋蘭開発センター

受 賞 者　：（株）マルイ洋蘭開発センター（群馬県）

育 成 者　：柯　文秀

ホームページ：https://www.e-hanaran.com

審査講評　：　淡紫色の星形の花弁が特徴的なファレノプシス。花の大きさが絶妙で、すらっと清楚で清々しい。新規性に富みながらも広い層に受け入れられそうなことから、ベスト・フラワー（優秀賞）とニュースタイル特別賞を同時受賞。和室にも似合いそう。また、切り花でのアレンジメントやブーケとしても期待できる。

　ナチュラルな曲げ仕立ては花の雰囲気にマッチしていており、曲げ仕立てを施さずとも見応えがある。

ベスト・フラワー（優秀賞）［カラークリエイト特別賞 同時受賞］

ファレノプシス「クレモンティーヌ」 アイファーマーグループ蘭工房

受 賞 者　：アイファーマーグループ蘭工房（愛知県）

育 成 者　：服部　健治

育成者権者：服部　健治

審査講評　：深いピンクに濃ブラウンの模様が入る、非常に独創的なミディタイプのファレノプシス。鮮やかで特徴的な花色はインパクトがあり、ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞。

　パンチのあるカラーリングで、南国オリエンタルなイメージ。シノワズリーの器にも合いそうで、想像力を掻き立てられる。コントラストがよく、カタログやウェブ販売での訴求力に期待できる。花の並びや重なりもよい。

鉢物部門 **春** 審査会

ライフデザイン特別賞

アフェンランドラ　「ホワイトウォッシュ」(株)ハクサン

受 賞 者　：（株）ハクサン（愛知県）
育 成 者　：Eden Collection B.V
育成者権者：J&Hジャパン
ホームページ：https://hakusan1.co.jp/
審査講評　：
　葉全体を覆うような白い葉脈や膨らみが楽しく、他にない質感があり、印象的で新奇性が高い。既存品種は通常花つきで出荷されることが多いが、カラーリーフとして扱えるため、出荷時期を選ばない。夏に向けて白い葉は涼しげで貴重。インテリアグリーンとしても合わせやすく、ライフデザイン特別賞受賞。ブラックなどスタイリッシュな鉢が合いそう。

鉢物部門 **秋**審査会

ジャパンデザイン特別賞

キク「和・美・菊　だいだい」髙松商事（株）

受 賞 者　：髙松商事（株）（千葉県）
育 成 者　：Royal Van Zanten社
ホームページ：http://www.tacoflower.jp/
審査講評　：
　スプーン形の花弁と花色がキャッチーで特徴的な、オランダ育種のキク。夏から年始にかけてニーズが高まる色目で、ジャパンデザイン特別賞受賞。
　特に秋にふさわしい鮮やかなカラーは、ハロウィーンにも活用できそう。花が大きく、スプーン咲きが強く表現されて個性的だが、飽きが来ない。花芯の盛り上がりもかわいらしい。

ジャパンデザイン特別賞

キク「和・美・菊　もも」髙松商事（株）

受 賞 者　：髙松商事（株）（千葉県）
育 成 者　：Royal Van Zanten社
ホームページ　：http://www.tacoflower.jp/
審査講評　：　オランダで育種された、スプーン咲きと色合いに新規性があるキク。夏過ぎから新年までの期間、出番が多いカラーリングでジャパンデザイン特別賞受賞。優しい色目がかわいらしく、寄せ植えや室内置きでも映えるだろう。既存のマム類と同様、耐病性、耐暑性に優れる。品質はよいが花色が薄めなぶん、インパクトが弱い。

フレグランス特別賞

シクラメン「 アブソリュ ドゥ モレル 」(株)ハクサン

受 賞 者　：（株）ハクサン（愛知県）
育 成 者　：MOREL DIFFUSION S.A.S
ホームページ　：https://www.hakusan1.co.jp
審査講評　：　世界で唯一のビクトリア咲き芳香性F1品種。エレガントな芳香で、フレグランス特別賞受賞。花つき、花もち、観賞期間の長さ、株のまとまり、耐病性、耐暑性など基本性能に優れる点が評価できる。強健でガーデンシクラメンとしても扱えるなど、多彩な方向性が感じられる。ただし、花形のばらつきがやや気になった。

フレグランス特別賞

シクラメン「チモピコティーシリーズ　ローズピンク 」（有）矢祭園芸

受 賞 者　：(有)矢祭園芸（福島県）
育 成 者　：金澤　美浩
ホームページ　：https://ysflower.jp/Y's flower
審査講評　：

八重咲きバイカラーのミニシクラメン。花弁に厚みがあるため花もちがよく、お得感がある。かわいらしい花色と咲き方、中心からの花立ち、株姿、鉢とのバランスのよさを見ても完成度が高い。さらに葉分けせずともドーム状に育つ。

芳香のよさからフレグランス特別賞受賞。

ニューバリュー特別賞

ファレノプシス「紫彩（シア）」（株）マルイ洋蘭開発センター

受 賞 者　：（株）マルイ洋蘭開発センター（群馬県）
育 成 者　：柯　文秀
ホームページ　：https://www.e-hanaran.com
審査講評　：鮮やかな紫色の花色と丸弁がかわいらしい。花弁の縁が白く覆輪に見え、花が際立っている。コンパクトな株ながらも大きめの花で、花数も多いためお得感がある。ギフトにもよいが、自宅向けにも飾りやすい。

ニューバリュー特別賞受賞。

ライフデザイン特別賞

ファレノプシス「カフェシフォン」アイファーマーグループ蘭工房

受 賞 者 ：アイファーマーグループ蘭工房（愛知県）
育 成 者 ： 服部健治
育成者権者： 服部健治
審査講評 ： 濃ブラウンとブラックに白いリップが温かみを感じる特徴的なミディファレノプシス。花姿や花形と他にないシックなカラーが人目をひく。
小輪ながら花数が多く、にぎやか。置き場所や合わせる鉢によって印象が大きく変わりそう。ウインターシーズンに飾りたくなる色合い。付加価値のあるギフトにも提案しやすい。
ライフデザイン特別賞受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

ファレノプシス「ティアモ」（有）椎名洋ラン園

受 賞 者 ：（有）椎名洋ラン園（千葉県）
育 成 者 ：（有）椎名洋ラン園
育成者権者：（有）椎名洋ラン園
ホームページ ：https://sheena.ranran.co.jp/
審査講評 ： 高級感のある中輪系でありながら、枝振りがよく花数が多く、きれいにまとまっている。万人に好まれるかわいらしいピンクのグラデーションに、赤いリップのコントラストが効いた華やかさがあり、ホームユースもおすすめしたい。
5ヶ月以上の開花記録を持つことから、グッドパフォーマンス特別賞受賞。

ガーデニング部門
フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2022
（株）ハクサン　ガイラルディア「スピントップ　スターバースト」

受 賞 者　：（株）ハクサン（愛知県）
育 成 者　：Dummen Orange
育成者権者：Dummen Orange
ホームページ　：https://hakusan1.co.jp/
観察期間　：2022年5月25日～11月1日
審査講評　：　大輪多花性で春から冬まで連続開花するガイラルディア。夏の間も止まらず咲き続ける。
フラワー・オブ・ザ・イヤー2020受賞の「スピントップ イエロータッチ」がさらに改良された印象。低い位置で開花するので株元が少し枯れ上がっても気にならず、さらにコンパクトになった株姿、大きな花、花後の丸い種子も目立ちすぎることもなく、全体にバランスの良い。高温多湿も乗り越え、株割れすることもなく、審査終了まで安定してずっと花を楽しめた。
　今回の審査で耐寒性は確認できないが、宿根させることで株がより充実し、花数が増えるという。安心しておすすめできる素晴らしい品種。

屋根付き施設

▲2022/5/26（定植後1日）

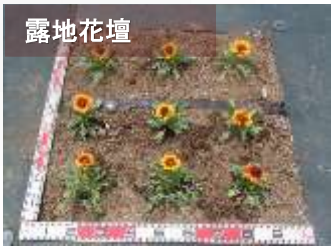
▲2022/7/8（定植後44日）

▲2022/8/4（定植後71日）

▲2022/9/1（定植後99日）

▲2022/10/27（定植後155日）

露地花壇


▲2022/5/26（定植後1日）

▲2022/7/21（定植後57日）

▲2022/9/1（定植後99日）

▲2022/10/27（定植後155日）

■受賞者コメント
【開発の経緯・コンセプトなど】春から冬まで連続開花し、夏の間も咲き続けるガイラルディアです。
宿根草ですがコンテナでも楽しめるほどコンパクトに改良されています。
-20℃の耐寒性と、近年の酷暑でも耐えられる耐暑性を持ち合わせるため、安心して栽培いただけます。
【開発の面白さ・今後の展開など】　スピントップシリーズのイエロータッチとともにフラワー・オブ・ザ・イヤーという栄誉ある賞を頂き大変光栄です。今後ともビギナーの方にも十分に楽しんでいただける品種を開発して参ります。

ベスト・フラワー（優秀賞）［ライフデザイン/ニューバリュー特別賞 同時受賞］

コレオプシス 「 アップティック　クリーム 」(株)エム・アンド・ビー・フローラ

受 賞 者 ：(株)エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者 ：Darwin Perennials
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ ：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間 ：2022年4月12日～11月1日
審査講評 ：

優しいクリーム色の花は遠目にも人目をひく上に、ガーデンデザインに使いやすい色。淡いグリーンの葉色との組み合わせもよく、ベスト・フラワー（優秀賞）にライフデザイン特別賞、ニューバリュー特別賞の2つの特別賞も同時受賞。

弁先が細く割れて、可憐で涼し気な花形。連続開花性に優れ、コンパクトでバランスのよい草姿。夏越し後も株割れせずに状態よく広がってボリュームがある。むしろ密植にしないほうがよく、寄せ植えよりもランドスケープ向きだろう。

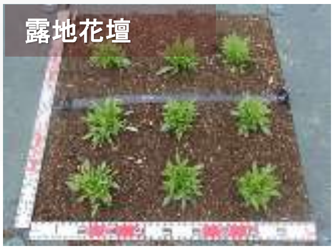
▲2022/4/20
（定植後8日）

▲2022/6/17
（定植後66日）

▲2022/7/21
（定植後100日）

▲2022/9/1
（定植後142日）

▲2022/10/27
（定植後198日）



▲2022/4/20
（定植後8日）

▲2022/6/17
（定植後66日）

▲2022/7/21
（定植後100日）

▲2022/8/18
（定植後128日）

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

ベスト・フラワー（優秀賞）
［ニュースタイル/ガーデンパフォーマンス/フレグランス特別賞　同時受賞］

バジル 「 エバーリーフタイタワー 」 (株) エム・アンド・ビー・フローラ

9/14撮影

受 賞 者　：(株)エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：Pan American Seed
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ　：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間　：2022年4月26日～9月14日
審査講評　：

高性種のバジル。スイートバジルとは違うタイバジルの強い芳香で、フレグランス特別賞を受賞。

生育が早いが、一般的なバジルよりも開花は10～12週晩生のため、長期間にわたって多量収穫が可能というセールスポイントがそのまま確認できた。

よくまとまった直立型の株姿が個性的で、食用でなく観賞用として花壇植えにしても楽しめるため、ベスト・フラワー（優秀賞）にニュースタイル特別賞とガーデンパフォーマンス特別賞も同時受賞。初心者でも簡単に育てることができそうなところもよい。夏越し後も葉色、株の状態ともによく、楽しみの多い優れた品種。

9/14撮影

9/14撮影

屋根付き施設

▲2022/5/10（定植後14日）

▲2022/5/24（定植後28日）

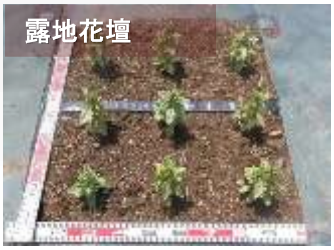
▲2022/6/17（定植後52日）

▲2022/7/21（定植後86日）

▲2022/8/4（定植後100日）

▲2022/9/1（定植後128日）

露地花壇


▲2022/5/10（定植後14日）

▲2022/6/7（定植後42日）

▲2022/7/21（定植後86日）

▲2022/9/1（定植後128日）

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

ベスト・フラワー（優秀賞）［カラークリエイト特別賞　同時受賞］

コリウス 「フレームスローワー　スパイスドカレー 」
㈱エム・アンド・ビー・フローラ

7/28撮影

受 賞 者　：(株)エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：Ball Horticultural Company
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ　：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間　：2022年4月26日～11月1日
審査講評　：

切れ葉タイプの美しいコリウス。発色のよいレッド＆マスタード色の葉色に新奇性があり、ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞。単植でも混植でも新しい扱い方ができそう。

梅雨明け、夏越し後も枯れ上がりがなく大株に育ち、葉色が鮮やか。花上がりが少ないため観賞期間が長い。草丈が伸びすぎると株割れするが、茎の下部に脇芽があるので適宜ピンチするとよいかもしれない。

シックな色合いで、夏から秋の長期間にかけて　大型花壇などで目を惹くだろう。

10/12撮影

10/12撮影

屋根付き施設

▲2022/5/10
（定植後14日）

▲2022/6/7
（定植後42日）

▲2022/8/4
（定植後100日）

▲2022/9/15
（定植後142日）

▲2022/10/27
（定植後184日）

露地花壇

▲2022/5/10
（定植後14日）

▲2022/6/17
（定植後52日）

▲2022/7/21
（定植後86日）

▲2022/9/1
（定植後128日）

ベスト・フラワー（優秀賞）［コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞　同時受賞］

スカエボラ 「 サンク・エール　ブルーグラデーション 」サントリーフラワーズ(株)

9/19撮影

受 賞 者　：サントリーフラワーズ(株)（東京都）
育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
ホームページ：http://suntory.jp/FLOWER
観察期間　：2022年5月17日～11月1日
審査講評　：　小さな扇形の花は、白から濃い青色へと美しいグラデーションをなし、スカエボラとしては新規性がある。屋根付き施設よりも露地花壇でグラデーションが出やすかった。
　株は暴れずコンパクトにまとまりながら、多花性で花が密集してつき、連続開花性にも優れている。コンテナでもガーデンでもどちらに植えてもよいパフォーマンスが見られたためベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞を同時受賞した。夏越し後は花色が濃くなり、グラデーション感が減るが、花の傷みも目立たなかった。

11/1撮影

11/1撮影

屋根付き施設

▲2022/5/24
（定植後7日）

▲2022/6/17
（定植後31日）

▲2022/8/4
（定植後79日）

▲2022/9/15
（定植後121日）

▲2022/10/27
（定植後163日）

▲2022/5/24
（定植後7日）

▲2022/7/21
（定植後65日）

▲2022/8/18
（定植後93日）

▲2022/9/15
（定植後121日）

▲2022/10/27
（定植後163日）

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

ベスト・フラワー（優秀賞）［コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞　同時受賞］

ペチュニア 「 スーパーチュニア　ラヴィ ドゥヴィ 」(株)ハクサン

7/28撮影

受 賞 者　：(株)ハクサン（愛知県）
育 成 者　：WINGEN LLC.
育成者権者：J&Hジャパン
ホームページ：https://hakusan1.co.jp/
観察期間　：2022年5月25日～11月1日
審査講評　：　小輪の花がかわいらしく、中心に入るラインが華やかなペチュニア。株を覆うように開花するというセールスポイント通りに、こんもりと仕上がった。
　夏以降は花色は退色せず、連続的に開花し耐暑性、耐雨性に優れ、蒸れにも比較的強かった。花数、花もちに関して標準レベル以上で消費者の期待を裏切らないだろう。
　コンテナでもガーデンでもどちらでも優秀な品種で、ベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞を同時受賞した。

7/28撮影

11/1撮影

屋根付き施設

▲2022/5/26（定植後1日）

▲2022/7/8（定植後44日）

▲2022/8/4（定植後71日）

▲2022/9/1（定植後99日）

▲2022/9/29（定植後127日）

露地花壇

▲2022/5/26（定植後1日）

▲2022/7/7（定植後43日）

▲2022/8/18（定植後85日）

▲2022/9/15（定植後113日）

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

ベスト・フラワー（優秀賞）［コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞　同時受賞］

コレオプシス「リーディングレディ　シャーリーズ」（株）ハクサン

7/28撮影

受　賞　者　：（株）ハクサン（愛知県）
育　成　者　：Dummen Orange
育成者権者：Dummen Orange
ホームページ：https://hakusan1.co.jp/
観察期間　：2022年5月25日～11月1日
審査講評　：　長期間咲く宿根コレオプシス。宿根性だが低温に遭わなくても初年度から開花する。鮮やかなイエローが印象的。大輪で半八重咲きの花は立体感がある。
　花がらが目立たず、花が風に揺れる姿が涼しげで遠目にも美しい。定植後から咲き始め、観察終了の11月にもまだ咲き続けていた。夏越し後はやや株が乱れたが、下部に脇芽もあり切り戻しも可能。コンパクトにまとまり生育良好で、ベスト・フラワー（優秀賞）とコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞同時受賞。

7/28撮影

7/28撮影

屋根付き施設

▲2022/5/26（定植後1日）

▲2022/7/7（定植後43日）

▲2022/8/4（定植後71日）

▲2022/9/1（定植後99日）

▲2022/9/29（定植後127日）

露地花壇

▲2022/5/26（定植後1日）

▲2022/7/7（定植後43日）

▲2022/8/4（定植後71日）

▲2022/9/15（定植後113日）

コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞

アジサイ「エンドレスサマー　サマークラッシュ」髙松商事（株）

受 賞 者　：髙松商事(株)（千葉県）
育 成 者　：Joshua Kardos
育成者権者：Bailey Nurseries, Inc
ホームページ　：http://www.tacflower.jp
観察期間　：2021年11月5日～10月15日
審査講評　：　いつ切っても翌年に花が咲く新旧両枝咲きのアジサイは、初心者でも気軽に楽しめる。
よくまとまりコンパクトで、鉢植えのほか日本の狭小庭に向いていることから、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞受賞。花房は小さく、多花性、矮性で節間が短い。ピンチ後の株は、株元からも新芽が出ていて期待できる。

▲2021/11/11
（定植後6日）

▲2022/1/4
（定植後60日）

▲2022/3/24
（定植後139日）

▲2022/5/10
（定植後186日）

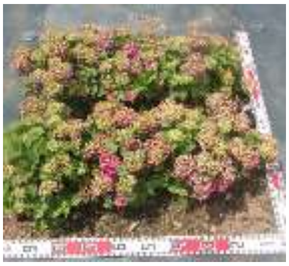
▲2022/6/20
（定植後227日）

▲2022/10/13
（定植後342日）

▲2021/11/11
（定植後6日）

▲2022/1/4
（定植後60日）

▲2022/4/5
（定植後151日）



▲2022/5/24
（定植後200日）

▲2022/6/17
（定植後224日）

コンテナパフォーマンス特別賞

ペチュニア「ゆうやけこやけ」(株)エム・アンド・ビー・フローラ

受 賞 者　：(株)エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：(株)ミヨシ
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間　：2022年3月29日～9月14日
審査講評　：

外側がオレンジ色、中心はブラウンの花は、深みのある特徴的な色合いで新奇性がある。温度による花色の退色は少ない。耐雨性、耐暑性にも優れ、連続開花性があるため、見応えがある。雨よけ施設内のコンテナ植えではさらに花傷みが少なかった。

ピンチしてもしなくても株がよくまとまり、株の乱れが少ないので、初心者にも育てやすい。コンテナパフォーマンス特別賞受賞。

▲2022/4/5（定植後7日）

▲2022/5/10（定植後42日）

▲2022/6/20（定植後83日）6/28 ピンチ

▲2021/7/8（定植後101日）

▲2022/9/1（定植後156日）

▲2022/4/5（定植後7日）

▲2022/6/20（定植後83日）6/28 ピンチ

▲2022/7/7（定植後100日）

▲2022/7/21（定植後141日）

▲2022/9/1（定植後156日）

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

コンテナ・ガーデンパフォーマンス/フレグランス特別賞 同時受賞

ラベンダー「プリマベーラ」（株）エム・アンド・ビー・フローラ

6/14撮影

受 賞 者　：（株）エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：Darwin Perennials
育成者権者：（株）エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ　：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間　：2022年3月29日～11月1日
審査講評　：特徴的な花房が人目を引く、大輪、分枝性に優れた多花性のラベンダー。連続開花性にも優れ、株張りよくコンパクトにまとまる。
　苞葉が大きく、花がらが目立たないのも利点。耐暑性に優れ、蒸れることなく枯れあがりも少ない。強健で揃いもよい。露地花壇、コンテナ植えのどちらでもよいパフォーマンスを見せコンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞、フレグランス特別賞を同時受賞。

6/14撮影

7/28撮影

屋根付き施設

▲2022/4/5（定植後11日）

▲2022/4/20（定植後26日）

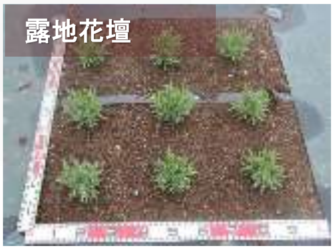
▲2022/5/10（定植後46日）

▲2022/6/17（定植後84日）

▲2022/7/21（定植後118日）

▲2022/10/27（定植後216日）

露地花壇


▲2022/4/5（定植後11日）

▲2022/5/10（定植後46日）

▲2022/6/17（定植後84日）

▲2022/10/27（定植後216日）

コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞

ジキタリス 「 アークティック　フォックスローズ 」

（株）エム・アンド・ビー・フローラ

9/1撮影

受 賞 者　：(株)エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：Darwin Perennials
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ　：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間　：2022年4月12日～11月1日
審査講評　：　多花性で連続開花性に優れ、扱いやすい花色で活用の幅が広いジギタリス。分枝性に富み、株張りがよくまとまっているため、コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞。
　草丈も大きくなりすぎないタイプ。低温処理不要で開花に至るが、開花するまでに時間を要した。また、夏は株自体の傷みは少ないものの、花は休んでいたのが少し残念だが、少しずつでも常に咲き続けていた様子は確認できた。

9/1撮影

6/14撮影

屋根付き施設

▲2022/4/20（定植後83日）

▲2022/6/7（定植後56日）

▲2022/6/17（定植後66日）

▲2022/7/8（定植後87日）

▲2022/9/29（定植後170日）

露地花壇

▲2022/4/20（定植後8日）

▲2022/9/1（定植後142日）

▲2022/9/29（定植後170日）

▲2022/10/27（定植後198日）

ガーデンパフォーマンス特別賞

カリブラコア 「 シャル・ウィ・ダンス　グッドナイトキッス 」
㈱エム・アンド・ビー・フローラ

受 賞 者　：(株)エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：Ball Horticultural Company
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ　：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間　：2022年4月12日～9月14日
審査講評　：　個性的で新奇性に富みながら、シックて落ち着いた花色。高温期でも花色は退色なく、連続開花性に優れていた。分枝もよく、花首が短いためにコンパクトによくまとまり、ハンギングバスケットにも利用したい。
　屋根付き施設での栽培もよいが、露地花壇では、夏越ししたとは思えないような状態で咲き続け、雨にも強く、特に素晴らしかった。ガーデンパフォーマンス特別賞を受賞。

屋根付き施設

▲2022/4/20（定植後8日）

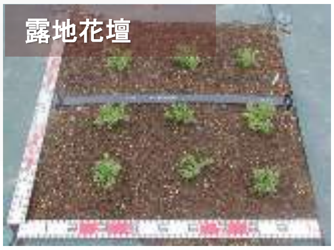
▲2022/5/24（定植後42日）

▲2022/6/17（定植後66日）6/28 ピンチ

▲2022/7/8（定植後87日）

▲2022/7/21（定植後100日）

露地花壇


▲2022/4/20（定植後8日）

▲2022/5/24（定植後42日）

▲2022/7/7（定植後86日）

▲2022/9/1（定植後142日）

コンテナパフォーマンス特別賞

バーベナ「 ファイヤーハウス　ブルーフィズ 」(株)エム・アンド・ビー・フローラ

受 賞 者　：(株)エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：Ball Horticultural Company
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間　：2022年4月12日～9月14日
審査講評　：

薄紫色と白のバイカラーが夏に涼しげ。花色の変化も楽しめる。多花性で夏の間も連続開花性に優れ、バランスがよい。丈夫で耐暑性、うどんこ病耐性にも優れる点も評価できる。

株元からも新芽を出してよく分枝するが株は暴れず、まとまってマウンド状に生育することから、コンテナパフォーマンス特別賞受賞。ハンギングバスケットにもおすすめ。

屋根付き施設

▲2022/4/20（定植後8日）

▲2022/5/24（定植後42日）

▲2022/7/8（定植後87日）

▲2022/8/4（定植後114日）

▲2022/9/1（定植後142日）

露地花壇

▲2022/4/20（定植後8日）

▲2022/5/24（定植後42日）

▲2022/7/7（定植後86日）

▲2022/8/18（定植後128日）

ガーデニング部門

JAPAN FLOWER SELECTIONS　いい花の新基準。

カラークリエイト/コンテナパフォーマンス特別賞　同時受賞

カリオプテリス 「 ゴールドクレスト 」(株)エムアンド・ビー・フローラ

11/1撮影

受 賞 者　：(株)エム・アンド・ビー・フローラ（山梨県）
育 成 者　：Darwin Perennials
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
ホームページ：http://www.mbflora.co.jp/
観察期間　：2022年5月31日～11月1日
審査講評　：

鮮やかなライムグリーン色の葉と薄紫色の花色とのコントラストが美しく、涼しげな印象。カラーリーフとしても活用でき、カラークリエイト特別賞受賞。

連続開花性に優れる。屋根付き施設内のコンテナ植えのほうが生育がよく、コンテナパフォーマンス特別賞も同時受賞した。株がややまとまりにくく、使い方の提案も必要。ナチュラルな雰囲気もガーデンにも似合う。

11/1撮影

11/1撮影

屋根付き施設

▲2022/6/7（定植後7日）

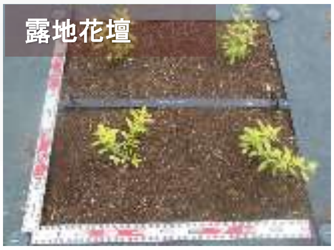
▲2022/7/21（定植後51日）

▲2022/8/18（定植後79日）

▲2022/9/15（定植後107日）

▲2022/9/29（定植後121日）

露地花壇


▲2022/6/7（定植後7日）

▲2022/8/4（定植後65日）

▲2022/9/29（定植後121日）

▲2022/10/27（定植後149日）

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

ニューバリュー/ガーデンパフォーマンス特別賞　同時受賞

カラジウム「ハートトゥハート　ローズグロウ」(株)ハクサン

9/14撮影

受 賞 者　：（株）ハクサン（愛知県）
育 成 者　：Proven Winners North America LLC
育成者権者：Proven Winners North America LLC
ホームページ：https://hakusan1.co.jp/
観察期間　：2022年6月28日～11月1日
審査講評　：

直射日光下でも旺盛に生育し、葉焼けや色あせしにくい。日に当てれば赤色と緑色のコントラストがより際立ち、花壇や寄せ植えのフォーカルポイントにも活用できる。

花壇植えも可能なことからガーデンパフォーマンス特別賞、ニューバリュー特別賞 同時受賞。早めに植えて、秋花壇の前には掘り上げて球根を保存するのがよいだろう。

7/28撮影

9/14撮影

屋根付き施設

▲2022/7/8（定植後10日）

▲2022/8/4（定植後65日）

▲2022/8/18（定植後79日）

▲2022/9/29（定植後121日）

▲2022/10/27（定植後149日）

露地花壇

▲2022/7/7（定植後9日）

▲2022/8/4（定植後65日）

▲2022/9/1（定植後93日）

▲2022/10/27（定植後149日）

ご存じですか？ジャパンフラワーセレクションのロゴマーク。

ジャパンフラワーセレクションで「入賞」に選定された品種は、「認定登録」をおこなうことにより、花の業界が推奨する品種として「ジャパンフラワーセレクション受賞マーク」をPRに活用することができます。
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。

ポットに差し込むタグに受賞マークを使用。

HPなどで自社製品の紹介に。

カタログの商品紹介や店頭のPOPに使用。

受賞マークは、一般の消費者に向けたHPや店頭PRだけでなく、生産者向けのカタログや市場出荷用のカートンやスリーブにも幅広くご利用いただいています。インターネット通販の商品に表示することで、比較購入の際の動機づけにもご活用いただいています。

■ジャパンフラワーセレクションの認定登録すると、用途によって使い分けられる6種類のマークをご用意

基本的なロゴマーク　日本花き取引コード（JFコード）あり　全6パターン

＊JFコード無しのロゴマークも6パターンあります。

■ジャパンフラワーセレクションの認定登録した品種が、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）になった場合は、専用のロゴマークが使用できます。

フラワー・オブ・ザ・イヤー専用ロゴ　全4パターン

■その他、ジャパンフラワーセレクションの広報用のロゴ（全4パターン）もご利用になれます。

■JFS認定登録料について

認定登録には別途60,000円（税込66,000円）の認定登録料がかかります。（認定登録は任意です）
認定登録申請書にご記入の上、事務局までお送りください。
認定登録申請書の様式は、jfpc@jfpc.or.jpにご請求いただくか、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞
TEL　０３－３６６４－８７３９　　FAX　０３－３６６４－８７４３
E-mail：jfpc@jfpc.or.jp　　ホームページ：http://www.jf-selections.net

第71回 関東東海花の展覧会　1月27日(金)～1月28日（土）で
ジャパンフラワーセレクション2020/2021/2022の受賞品種など、自社のお花のＰＲをしませんか？（2022年10月版）

ジャパンフラワーセレクション2020/2021/2022
特別賞受賞品種・入賞品種　特別展示
出品募集のご案内

@ 第71回 関東東海 花の展覧会

2023年1月27日（金）～29日（日）開催の「第71回 関東東海花の展覧会」で、ジャパンフラワーセレクションの受賞品種の特別展示を行いますのでご案内いたします（JFS受賞品種展示は、27日・28日の2日間）。2020 /2021/2022年の受賞品種だけでなく、その関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場としたいと思います。ご出品のご協力を宜しくお願い致します。

＊関東東海花の展覧会とは･･･花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。

■PR展示の対象：過去のJFS入賞品種･特別賞受賞品種とその関連品種

■展示場所：東京 池袋 サンシャインシティ文化会館2階 展示ホールD (入場無料)

■PR展示申し込み締め切り：2023年1月18日（水）
＊展示スペースに限りがありますので、締め切り日以前に締め切る場合があります。ご希望の方は早めにお申し込みください。

■展示品搬入日時：
①宅配便による搬入の場合　　2023年1月26日（木）午前中　必着
②出品者による直接搬入の場合　2023年1月26日（木）13:00～16:00　必着
＊この日以外は受け取ることができませんのでご注意ください。

■PR展示期間：2023年1月27日（金）～28日（土）
■出品料：無料
■搬入先住所： 〒170-8630 東京都豊島区東池袋３－１－４ 文化会館２階 展示ホールD
第71回関東東海花の展覧会　出展者名（一財）日本花普及センター

出品をご希望される方は、別添「受賞品種PR展示申込書 兼 花材出荷通知書」の様式にご記入の上、メール又はFAXでお申し込みください。受領後、（一財）日本花普及センターより搬入についてご案内いたします。

関東東海花の展覧会（2019）の受賞品種PR展示の様子

＝＝＝

お問い合わせ・お申し込みは 一般財団法人日本花普及センター まで
E-Mail　jfpc@jfpc.or.jp
〒103-0004　東京都中央区東日本橋３丁目６番１７号
ＴＥＬ：０３－３６６４－８７３９/ＦＡＸ：０３－３６６４－８７４３

JAPAN FLOWER SELECTIONS
ジャパンフラワー
セレクション受賞
2022-2023

ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。

http://www.jf-selections.net/

JAPAN FLOWER SELECTIONS いい花の新基準。

http://www.jf-selections.net/

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル４Ｆ
一般財団法人日本花普及センター内
TEL：03-3664-8739　FAX：03-3664-8743
メール：jfpc@jfpc.or.jp